「登録日本語教員」養成プログラム　学習項目（必須の教育内容）対応表　-2025年度以降入学生-

2025年4月14日更新

科目名	開講年次	単位数		備考	学習項目（必須の教育内容）																																																			対応項目数
		必修	選択必修		社会・文化・地域							言語と社会						言語と心理						言語と教育																	言語														
					世界と日本	異文化接触		日本教育の歴史と現状				言語と社会の関係		言語使用と社会			異文化コミュニケーションと社会	言語理解の過程		言語習得・発達		異文化理解と心理		言語教育法・実習												異文化間教育とコミュニケーション教育			言語教育と情報		言語の構造一般		日本語の構造							コミュニケーション能力					
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	
					世界と日本の社会と文化	日本の在留外国人施策	多文化共生（地域社会における共生）	日本語教育史	言語政策	日本語の試験	世界と日本の日本語教育事情	社会言語学	言語政策と「ことば」	コミュニケーションストラテジー	待遇・敬意表現	言語・非言語行動	多文化・多言語主義	談話理解	言語学習	習得過程第一言語・第二言語	学習ストラテジー	異文化受容・適応	日本語の学習・教育の情意的側面	日本語教師の資質・能力	日本語教育プログラムの理解と実践	教室・言語環境の設定	コースデザイン	教授法	教材分析・作成・開発	評価法	授業計画	教育実習※実践研修コアカリキュラム	中間言語分析	授業分析・自己点検能力	目的・対象別日本語教育法	異文化間教育	異文化コミュニケーション	コミュニケーション教育	日本語教育と ICT	著作権	一般言語学	対照言語学	日本語教育のための日本語分析	日本語教育のための音韻・音声体系	日本語教育のための文字と表記	日本語教育のための形態・語彙体系	日本語教育のための文法体系	日本語教育のための意味体系	日本語教育のための語用論的規範	受容・理解能力	言語運用能力	社会文化能力	対人関係能力	異文化調整能力	
実践研修（「共生日本語教育実習」）受講前に履修対象となる必須の教育内容37項目						◎	◎										◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
日本語教育学（１）社会・文化・地域Ａ	2年	2			●	●	●																													●	●	●												●	●	●	●	●	11
日本語教育学（１）社会・文化・地域Ｂ	2年	2						●	●	●	●																									●	●	●												●	●	●	●	●	12
日本語教育学（２）言語と社会Ａ	2年	2										●	●				●																			●	●	●												●	●	●	●	●	11
日本語教育学（２）言語と社会Ｂ	2年	2												●	●	●																				●	●	●												●	●	●	●	●	11
日本語教育学（３）言語と心理Ａ	2年	2																●	●	●																●	●	●												●	●	●	●	●	11
日本語教育学（３）言語と心理Ｂ	2年	2																			●	●	●													●	●	●												●	●	●	●	●	11
異文化コミュニケーションＡ	1年	2			●		●		●			●	●	●	●	●	●					●														●	●	●												●	●	●	●	●	18
日本語教育法Ａ	2年	2																						●	●	●	●	●	●							●	●	●	●	●										●	●	●	●	●	16
日本語教育法Ｂ	2年	2																												●	●		●	●	●	●	●	●												●	●	●	●	●	13
共生日本語教育実習	3年	4		・「登録日本語教員」養成プログラムの1～2年次必修科目をすべて修得済みであること ・「日本語教育法A～B」が各B評価以上であること																												●																							1
日本語学概論	1年	2																																							●	●	●	●	●	●	●	●	●						9
異文化コミュニケーションＢ	1年	2					●					●					●					●														●	●	●												●	●	●	●	●	12
日本語音声学	3年		2	4単位選択必修																																								●											1
子どもの日本語教育	3年		2			●	●						●							●		●	●																																6
日本語教育文法Ａ	3年		2																																												●								1
日本語教育文法Ｂ	3年		2																																												●								1
日本語教育学各論Ａ	3年		2																								●			●	●			●		●	●	●												●	●	●	●	●	12
日本語教育学各論Ｂ	3年		2																										●	●						●	●	●												●	●	●	●	●	10
教育とＩＣＴ Ａ	3年		2																								●	●	●										●	●															5
教育とＩＣＴ Ｂ	3年		2																								●	●	●										●	●															5
合　計		30単位以上		設定科目数	2	2	4	1	2	1	1	3	3	2	2	2	3	1	1	2	1	4	2	1	1	1	4	3	4	3	2	1	1	2	1	12	12	12	3	3	1	1	1	2	1	1	3	1	1	12	12	12	12	12	